

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



高丸分教会

昭和22年12月26日 設立
平成23年10月26日 移転・改称
平成23年11月6日 鎮座奉告祭

教祖百四十年祭 笠岡大教会活動方針

つながろう、おやさまのお心に。
つなげよう、信仰の喜びを。

活動
目標

ひながたを学び、そのお心を実践しよう。



教祖140年祭

立教186年
5月号

全委員長講習会 開催

婦人会



支部としての思いを述べられる
支部長様

婦人会(上原きよみ支部長)は、去る4月22日(土)、「全委員長講習会」を開催しました。これは、3年に1度開催されており、この度は、教祖140年祭三年千日始まりの年として、一日でも早く、本会からお打ち出し頂いた事柄、支部としての支部長様の思いを伝えて、年祭までの期間を、足並みを揃えて前進すべく開催されました。コロナ禍が終息しはじめ、コロナ禍の道中のつとめに対してねぎらいのお言葉を頂くなか、計89人の委員長さん方の



感話として決意を述べる
上原愛美常任委員

参加を頂きつとめさせて頂きました。当日は、午前9時半より開講し、支部長様は、「委員長講習会・総会にも、開かれる意味を考えて参加していただきたい」と述べられました。その後、3人の委員・委員長による「私にとつての年祭」というテーマの感話、昼食。午後からは6・7人12班に分かれて「ねりあい」・「サイコロトーク」を持ちました。各々の持ち場・立ち場の上から、様々な意見が出され、時の経つのも忘れて、あちこちの部屋から談笑する声が聞かれました。その後、閉講。講堂で礼拝させていただき、散会しました。
(常任委員 中村 理 恵)

笠岡学生会 レクリエーションの日

6月18日(日)
9:30-11:00

場所: 笠岡市立陶山小学校 体育館
(笠岡市押撫910-3)

内容: レクリエーションゲーム
ソフトミニバレーetc...

持ち物: 体育館シューズ(又は綺麗な靴)
タオル・飲み物

雅楽講習会 開催

雅鶯会

雅鶯会(田中隆之楽長)は4月27日大
教会に於いて雅鶯会員を対象とした雅

楽講習会を開催。教内外から3人の講
師を招き、会員10人が参加した。
午前9時半開講、田中楽長より「良
い音色を祭典祭儀式で神様にお供えさ
せて頂こう」との挨拶を頂戴した後、
各管に分かれて練習、昼食を挟んで15

時より合奏練習を行い17時半閉講と
なった。夕勤め後には講師の方々や会
員同士の親睦を深める会食が行われ、
1日のみの開催では有ったが、非常に
内容の濃い充実した講習会となった。
(雅鶯会員 山野弘実)



龍笛講師：清水規彰先生(明和⊕明大⊕後継者)



各管に分かれての練習



箏篳講師：小坂俊郎先生(網干⊕陽慶⊕会長)



鳳笙講師：上田弘美先生

くにたち
国立音大出身。東京で、伶楽舎・小野雅楽会で
研鑽を積み、元宮内庁式部職楽部主席楽長の
豊 英秋ぶんのひであきに師事。宝塚市内で笙・ピアノを教授。



講堂での合奏練習



甘さたっぷりのイチゴに思わず笑顔

笠岡学生担当委員会(上原繁次委員
長)は、4月30日、親里管内学校新入
生歓迎会を開催した。
この日は、まず詰所に集合し、グルー
プでゲームを楽しんだ。その後、天理市
内にあるイチゴ園で、イチゴ狩りを行
い、甘さたっぷりのイチゴを満喫した。
午後からは、詰所で親睦の時間を過
ごし学生らは楽しい1日を過ごした。

親里管内学校 新入生歓迎会 開催 学担

大教会だより

|| 辞令 ||

立教186年4月21日付

◎登用

幹部承事	谷内伸自
准承事	谷内秀自

◎立教186年直轄教会定期巡教

(*は6月)

福山	岡山	中島	武内	大教会	前会	上原	上原	弥高	陽備	摩耶	金浦	興明	ひろと	陶山	芳井	呉照	海松	東悠
真一	誠治	正美	正美	長様	長様	長様	長様	志郎	元教	元教	正教	長様	長様	真一	元教	志郎	誠治	繁道

吸江	照陽	輝美	新山	新山	明石	上中	府中	東城	服部	島中	驛家	葦陽	湯田	備中	神昭	美郷	錦備	神免
上原	大教	上原	前会	前会	岡崎	中島	岡崎	上原	大教	田中	上原	武内	田中	大教	大教	大教	武内	岡崎
繁道	長様	繁道	長様	長様	真一	誠治	真一	繁道	長様	隆之	繁道	正美	隆之	長様	長様	長様	正美	真一

計報

岡崎節夫さん

大教会直轄高千恵布教所長
4月29日出直されました。
享年 86才



「KASAOKAひながた通信」、いったい、

どなたが書かれているのだろうかと思
いながら、毎月楽しみに読んでいます。
ご存じの方のほうが多いのだろうが、
小生、巷の情報音痴ゆえに、知るはず
もなく、敢えて知ろうとはせずに、既
に、2月から4回が配信されている。

構成は、まず「テーマ」があつて、
次に「天理教教祖伝第二章『生い立ち』
よりの抜粋」と「この抜粋部分に対す
る分かりやすいオリジナルの解説コメ
ント」、最後に「私とひながた」とい
う少し長めの文章から成っている。こ
の「KASAOKAひながた通信」は、紙で
も配布されているが、小生は、ポスター
の右下のQRコードを読み取って、ライ
ンで受け取っている。まだの方は是非
お試しください。

さて小生、最初に配信された、2月
の解説コメントに、とても心惹きつけ
られた。幼少の頃のおやさまのお姿が
目に浮かんでくるようで、何とも言え
ない優しい気持ちになった。3月の「私

とひながた」に書かれている祖母との
エピソードと結びの3行にも共通す
る、誠の優しさや温かさに触れて、4
月以降も継続して読んでいきたいと
思った。

4月の「私とひながた」、これも感
動した。電車の中で乗客たちが一斉に
席を譲ろうと立ったエピソード。その
ときの様子を「よく晴れた朝でしたが、
車内は一層輝いて映り、何とも言えな
い優しい雰囲気になりました。」と
結ばれている。小生は、一度もこんな
素晴らしい体験をしたことがない。立
とうかと一瞬迷っている間に他の方に
先を越されて、ばつの悪い思いをした
ことは何度かあるが、これを書かれた
先生は、素晴らしい体験をなさったな
あとうらやましく感じた。

直近の5月は、小生の尊敬する村上
和雄先生と祈りのことについて書かれ
ている。どの回も、それぞれに味があつ
て素晴らしい内容である。6月以降の
先生方にプレッシャーをかけるつもり
はないが、楽しみにしている。最後に、
文字を読むのが苦手な方には、ユーチ
ューブ配信の朗読版もあるので利用さ
れるとよい。

(友)



学生生徒修養会

GAKUSHU FOR HIGH SCHOOL

母校の部

感動の5日間を、おぢばで。

令和5年 8.11 TUE ~ 8.15 TUE

主催：天理教教会本部 事務局：学生担当委員会

📁 詰所からのお知らせとお願い

詰所での入浴について

- ・入浴機器の故障により、現在詰所に入浴することができません。復旧は早くても7月中旬ごろになります。入浴される方は、入浴券を事務所にしてお渡ししますので、16時~20時30分の間で本部千人風呂にて入浴してください。

詰所での宿泊・喫食について

- ・詰所で宿泊・喫食される場合は、「教会名・代表者名・泊数・食数」を、**2日前までには、必ず詰所**へご連絡ください。
- ・**食事をしない(宿泊のみの)場合**でも、2日前には申し込みをして下さるようお願い致します。

部内教会・信者に徹底願います。